

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
143 水質汚濁防止事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	1	環境の保全
取組方針	1	生活環境の保全

事業種別	継続	
事業期間	～	
事業実施の根拠法令	水質汚濁防止法、瀬戸内海環境保全特別措置法	
関連個別計画	和歌山市環境基本計画	
担当課・担当課長 (Tel)	環境政策課	中西 克之(435-1114)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	○
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	衛生費		
	項	環境保全費		
	目	環境保全政策費		
	大事業	環境保全対策事業		
事項	水質汚濁防止事業			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	水質汚濁防止法等に基づき、公共用水域及び地下水の常時監視及び工場排水の規制・指導等を行うことにより、環境保全に努める。また、瀬戸内海の環境保全を図るため、関係府県市と広域的な相互協力を行う。	海域・河川の常時監視、工場排水の規制・指導業務、有害物質による地下水汚染の実態調査、ゴルフ場使用農薬による環境汚染調査、海水浴場の水質調査を実施する。				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		工場・事業場(88工場・事業場延べ210排水口)の排水監視公共用水域河川(環境基準点9地点、補助地点9地点)及び海域(環境基準点10地点、補助地点9地点)の常時監視 地下水(30地点)の常時監視	工場・事業場(86工場・事業場延べ200排水口)の排水監視公共用水域河川(環境基準点9地点、補助地点9地点)及び海域(環境基準点10地点、補助地点9地点)の常時監視 地下水(30地点)の常時監視	工場・事業場(89工場・事業場延べ203排水口)の排水監視公共用水域河川(環境基準点9地点、補助地点9地点)及び海域(環境基準点10地点、補助地点9地点)の常時監視 地下水(30地点)の常時監視	工場・事業場(88工場・事業場延べ197排水口)の排水監視公共用水域河川(環境基準点9地点、補助地点9地点)及び海域(環境基準点10地点、補助地点9地点)の常時監視 地下水(30地点)の常時監視 生活排水対策推進計画の策定	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	12,899	11,194	8,647	7,313	8,468	7,114	13,235		13,235	
伸び率(%)	-	-	▲33.0%	▲34.7%	▲2.1%	▲2.7%	56.3%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	8,672	8,422	7,364	7,334	7,364	7,615	6,870	6,870	
	正規職員以外									
小計	8,672	8,422	7,364	7,334	7,364	7,615	6,870		6,870	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	12,899	11,194	8,647	7,313	8,468	7,114	13,235		13,235	
所要人数(人)	正規職員	1.14	1.13	0.89	0.96	0.89	1	0.86		0.86
	正規職員以外									
主な予算内訳	検査分析委託料6,420千円、業務委託料4,158千円、各種会議負担金685千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 公共用水域の(河川・海域)監視地点数	地点	目標値	37	37	37	37	
		実績値	37	37	37		
		達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%		
活動指標 工場・事業場等に対する監視延べ排水口数	個	目標値	200	200	203	197	
		実績値	210	200	203		
		達成度(%)	105.0%	100.0%	100.0%		
成果指標 公共用水域の環境基準達成率	%	目標値	95	95	95	95	
		実績値	87.02	90.4	92.1		
		達成度(%)	91.8%	95.2%	97.0%		
成果指標 工場・事業場等の規制基準順守率(水質汚濁)	%	目標値	100	100	100	100	
		実績値	99.9	99.5	99.5		
		達成度(%)	99.9%	99.5%	99.5%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	法定受託業務であり、測定地点及び項目数を削減することは出来ない。継続して、工場等の発生源の監視・指導を行うとともに、公共用水域等の監視に努める
見直し・改善内容	